

## 本時のねらい・評価基準

・地域のハザードマップなどの情報を書き加え、どのような被害が生じるかをより具体的に検討することで、地域社会に参画する地方自治について理解できる。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・dig 防災では本来一枚の紙を活用し、その場にいる全員で防災について考えるが、今回は Teams の Whiteboard 機能を使用し、全員がリアルタイムに防災マップに書き込む工夫がされている。  
・修正が容易で、何度も挑戦し書き換えることができるので、より細やかな情報の共有が可能であると考えられる。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・Teams (Microsoft)      ・Whiteboard (Microsoft)      ・PowerPoint (Microsoft)

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	1. 本時の目標・流れの説明【写真1】 本時の目標「私たちの町の防災から地方自治を考えよう」 ・提案の流れと評価方法について説明する	・PowerPoint を活用し、本時の流れを確認する
展開 (40分)	2. 各班ごとに提案【写真2】  3. 相互評価する ・評価基準に基づき、提案する班についての評価を行う  4. 提案内容への質問 ・他班や地域の方からの質問を聞き答える【写真3】	・各班ごとに PowerPoint を活用し提案することで視覚的な理解につなげる ・Forms を活用し、班ごとの評価を行うことで、授業内での評価→フィードバックを行う  ・Forms で答えを集約する（全員の答えを集めることができる） ・答え合わせでは、発表ノートで作図するようすを見せることで、これまで行ってきた作図の方法で証明できることを実感させる。
まとめ (5分)	5. 振り返り・自己評価 ・Forms で他班からの評価をもらい、紙面で自己評価を行う	・最終的には書いて表現できる力も身に付けてほしいので、紙媒体でも定着の確認を行う。

## 1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】めあての確認



【写真2】避難経路の改善点のプレゼンテーション



【写真3】地域の区長への提言とその答え

## 児童生徒の反応や姿容

自分たちの住む地域についての学習ということもあり、生徒は自身の家族や地域の人々などが、本当に安心して過ごせる街づくりを真剣に考えていた。本学習の中では Whiteboard という機能を使用したのが、地域の地図に直接情報を書き込んだり、写真を貼ったりという作業が、同時に行うことができていた。本来は、写真を切り貼りしたり、ペンで書きこんだりといった作業に時間がかかってしまい、本当に話したいことに時間を割けないということが多かったが、本学習ではクラウドを活用した同時編集が非常に効果的にはたっていた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

紙媒体と比較した際に、地域の地図をそのままデータで活用でき、作図する際の書き込み、訂正を容易に行うことができる。紙媒体と比べて、データは書き込み・訂正が手軽であるため、作図や視覚的題材を扱うのに適している。ノートやプリントでは「丁寧に書きたい・失敗したくない」という思いの生徒が、正解がわかるまで書き出せないということがあがるが、タブレットでは失敗を恐れず取り組むので、導入でまずは試行錯誤してほしいときに有効である。